

G. 8. 1 -
2801

十二名) 中ノ十五名ニ對シ十月二十日前同様ノ手書ヲ郵送シ
 更ニ十月三十日残ル三名ニ對シ同様手書ヲ送シ十一月五日解
 決ト同時ニ残余五名ノ解雇手書ヲ支給シタリ而シテ解雇手書
 總額ハ

- 一 金四百九十一圓二十六錢
- 二 爭議費用 金百二十圓
- 三 其ノ他四百圓 (幹部ニ對スル個人酌同情金)
- 計五百二十圓也

總計金是千。十一月二十六錢也

四 警察事故 ナシ

六 叙上ノ如ク本爭議又因消解決セルヲ以テ爭議團側ニ於テハ
 一月六日午後一時ヨリ今本部ニ於テ解雇式ヲ舉行シ今日午
 五時迄奉散會ス

石及中(通)報候也

労働者四百一十名
 昭和六年七月二十八日

警視總監 高橋守雄

事務大臣 安達謙藏 殿
 社會局長 官 殿

日本教育労働會 労働爭議ニ関スル件 (卷生)

要旨 和工十名、工場を第四月結業して生計解決を乞ふ事、交つて休業中、
 神田實業会館に於て九月二日、至業時突として、労働者大、押迫反、
 百圓以上十名、労働大に爭議ニ入ル

標記工場ニ爭議發生セルガ状況左記ノ通り

一 卷生ノ場所

名川江大門町二四

一 事業主側

一六、三ニシ解決ハ一
 労働組合 等切